

これぞ、イリュージョン！

のう
脳はだまされやすい！？

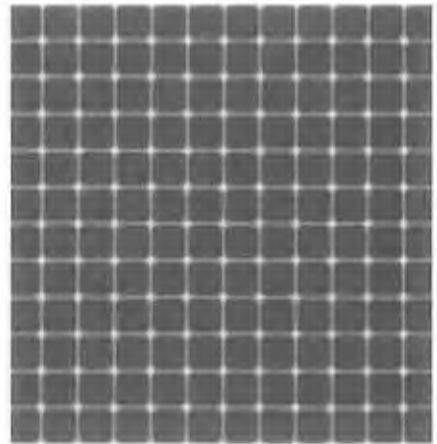
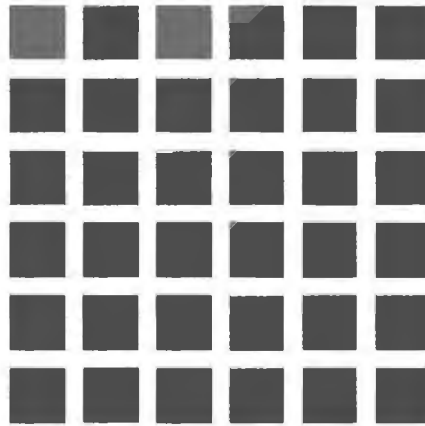
私たちがものを見ているとき、ものは正しく見えているように感じます。しかし、ときどき、ものが正しくない見え方をすることがあります。止まっているものが動いて見えたり、回転したり、直線が曲がって見えたり……。

これを錯視（さくし）といいます。

ざいりよう 【材料】

- ・うずまきの紙
- ・のり
- ・いらないCD
- ・ホットボンド
- ・ビー玉
- ・黒くぬった竹串2本
- ・錯視アニマルの型紙

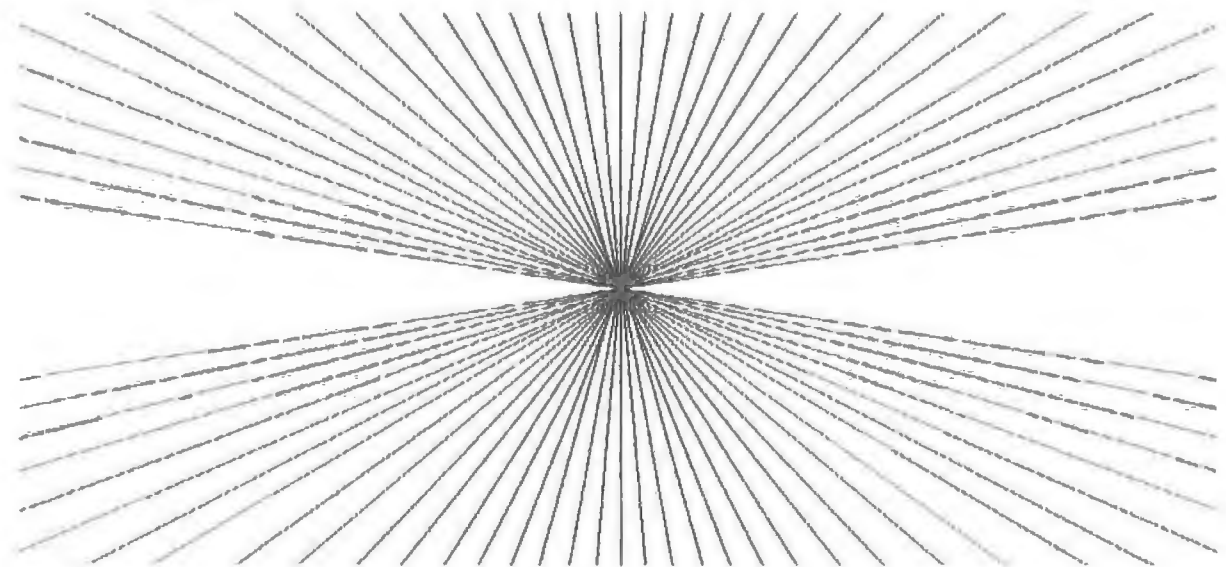
右の図は、黒い四角をたてよこにならべたものです。ただ、四角がならんでいるだけなのですが、じ〜っと一つの四角を見ていると…四角と四角の間に、黒い丸が見えてきませんか？



右の図は、同じように、黒い四角をならべ、その間を灰色にぬったものです。これも、じ〜っと見ていると…白い丸の中が黒い丸になったり、点滅しているように見えませんか？このふたつの図も、錯視（さくし）です。

○先生の話聞いて、書いたり置いたりしてみよう

- ・竹串を、横にして線の上においてみよう。（へリング図形）

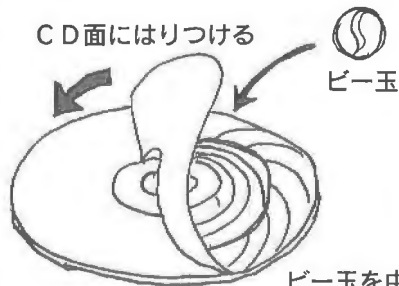


・竹串を>という記号のように、右の線を
またいでおいてみよう。何が見えるかな。



○イリュージョンごまを作ろう

- ①CDの表面に、ぐるぐる模様の紙をのりではりつける。
- ②ウラ面から、ホットボンドでビー玉をつける。



やり方

1. 20秒くらいじ~っとコマの中心を見る

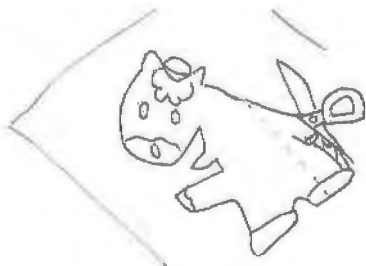


2. すぐに手のひらを見てみよう！
手のひらが…！

ビー玉を中心にのせる

※手のひら以外にも、いろいろ見てみると楽しいです。友だちの顔や、天井なども見てみよう。
※錯視には個人差があります。見えにくい場合もありますが、心配いりません。

○お追いかけてアニマルを作ろう



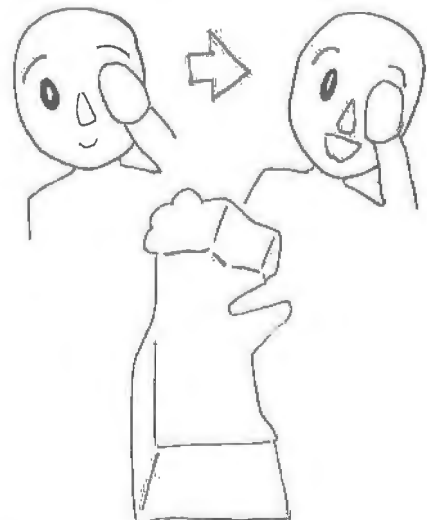
はさみでいねいに切りぬく。

1. 折り目をつける。



2. セロハンテープでウラからつける。

かたほうの目を閉じて、左右から見てみよう。顔がこっちを向くよ。



※わかりづらいときは、携帯のカメラなどで見てみよう。